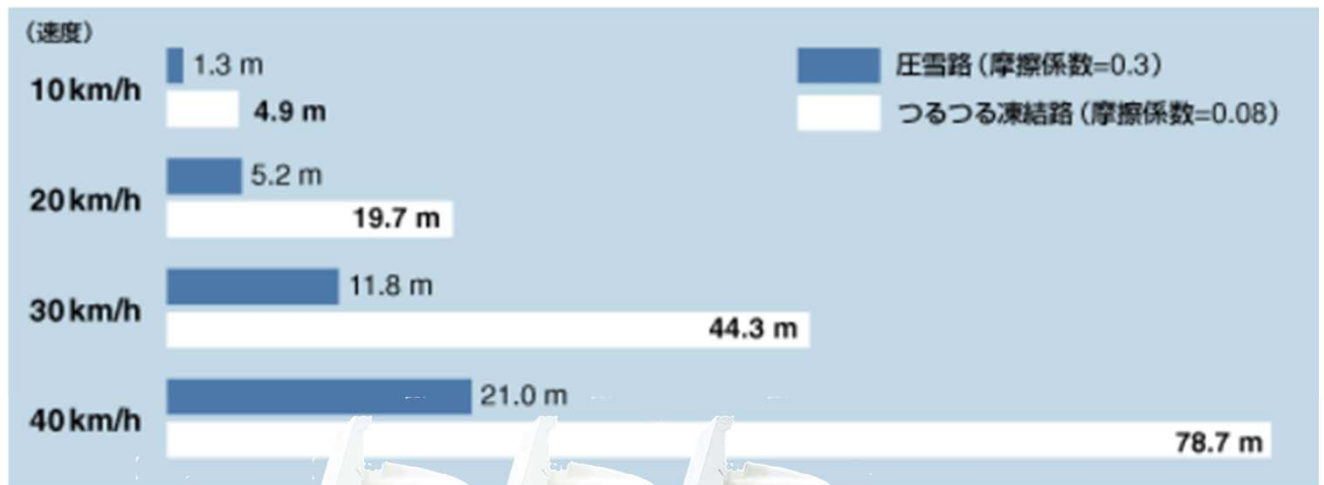


氷雪路面の種類と特徴

新雪	圧雪	シャーベット	アイスバーン
			
柔らかい雪質として常に路面の上に覆いかぶさる。	雪が踏み固まった状態で走りやすいが、下にアイスバーンが隠れている	水分を多く含んだシャーベット状雪路のため走りにくい。	摩擦抵抗が小さく大変滑りやすい。



氷雪路走行時の安全ポイント

発進時: **急**アクセルは禁物
エンジン回転数は一気に上げず(約800回転)駆動時のピークの直前を利用。

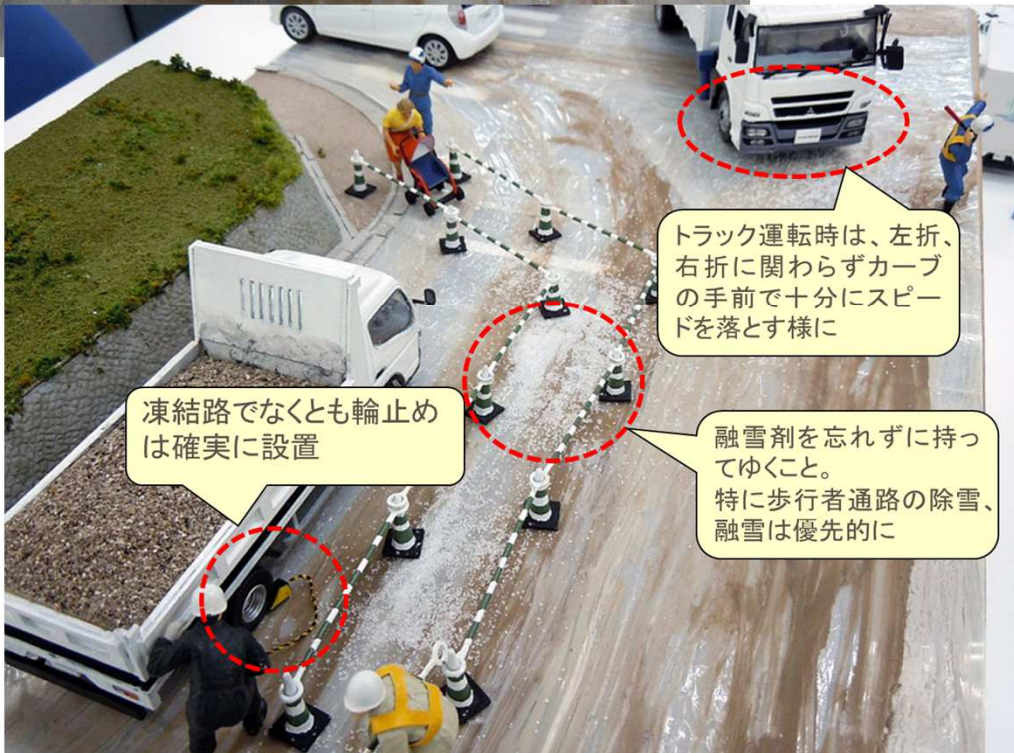
停止時: **急**ブレーキを行わずに済む運転
ブレーキは早めに、しかもソフトに。タイヤをロックさせないように。

下り坂: タイヤがロックしても慌てずに
路面状況に合わせ、エンジブレーキをうまく使用し、タイヤがロックしたら、ブレーキをゆるめて再度ソフトブレーキを。

コーナーリング: カーブに入る前にブレーキを
コーナー手前で十分に減速し、急ブレーキ、急加速、**急**ハンドルは禁物。
一定の速度でまわるように。



乗用車がトラックにぶつけるよりトラックがぶつける方が大きな事故になる。

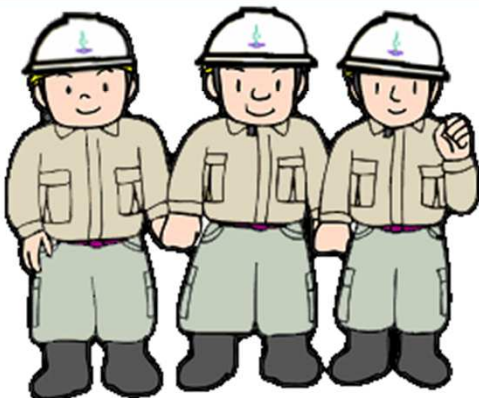


凍結路でなくとも輪止めは確実に設置

トラック運転時は、左折、右折に関わらずカーブの手前で十分にスピードを落とす様に

融雪剤を忘れずに持ってゆくこと。特に歩行者通路の除雪、融雪は優先的に

1割のスピードダウン
2倍の車間距離
3分早めの出発



あせらない。
イライラしない。
急がば回れの気持ちで。
冬の交通事故“0”達成を！